

事業所名 中野区立療育センターアポロ園

公表日 2026年 3月 28日

回収数 109名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	106	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	97	6	1	5	職員の能力差が大きいように思えます。2人でも充分フォローできているときがあれば、5人いても手が足りてなさそうなきときもあります。	園として業務の標準化、育成支援、連携強化を進めることで、人数だけに依存しない安定した療育体制の構築に取り組んでまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	105	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	107	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	99	5	2	3	先生によって、知識や考え方にどうしてもムラがあると感じられる。  まだ2語程度の言葉しか理解できないタイミングで長い構文で話しかけたり、名前の理解が十分でないときに、普段呼ばれない呼び方をされたりしている(子供が混乱するのでやめてほしい)。事前に個々の課題について理解を深めたり、基本的な支援手法についてしっかり学ぶ機会を設けて対応してほしい。  不慣れな職員さんがいらっちゃって、スムーズに進行しない場合が見受けられるのが気になっています。	こどもの特性や発達段階に応じた支援の質を高めるため、アポロ園では職員間の知識や対応のばらつきを縮小し、支援手法の基礎から実践までを学べる研修機会の充実を進めています。また、こども一人ひとりの課題や理解段階を職員間で共有し、声かけや関わり方が統一されるよう情報伝達の仕組みを強化しています。不慣れな職員には、経験のある職員がそばで支援しながら実践力を高められる体制を整え、園全体として専門性の標準化と安定した支援の提供に取り組んでまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94	4		11		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	104	4		1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	99	3		7		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	102	4	1	2		

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96	8	1	4	興味こそされるものや、季節を感じて楽しめるものを考えられていてとても良いと思います療育上プログラムを繰り返す必要もあるのかもしれないけれど、できれば毎回変えて欲しい。体を動かす内容で繰り返しバージョンを変えて行っていくプログラムもありますが、些細なバージョン違いの為あまり変化がなく飽きてしまう子がいる時がありました。	アポロ園では、季節感や興味を引き出す多様な活動を大切にしつつ、プログラムが固定化しないよう工夫を続けています。療育上、繰り返しの経験が必要な場面もありますが、内容が単調にならないよう、活動のねらいに沿ったバリエーションの幅を広げ、こどもが新鮮さを感じながら取り組める構成を検討していきます。また、繰り返しのプログラムでも変化が分かりやすく、達成感や楽しさにつながる工夫を取り入れ、飽きや負担が生じないよう調整を進めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	48	13	9	39	近隣の保育園での交流が数回あるようですが、きちんと交流しているかはよくわかりません	アポロ園では、近隣保育園との交流機会を設け、こどもが地域の中で多様な関わりを経験できるよう取り組んでいます。単独通園の方については、実際に交流を通して学びにつながる機会が生まれています。今後は、交流の内容やこどもの様子がより伝わるよう情報共有を工夫し、地域とのつながりを大切に活動を持続してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97	6		6		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	106	3				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	83	8	4	14	ペアレント・トレーニングを実施してほしい。プログラムの案内はあるのですが、仕事の都合で参加できておりません	家族支援の充実を図るため、ペアレント・トレーニングを含む家族向けプログラムや情報提供の機会を継続して整えています。今後は、参加が難しい方にも学びの機会が届くよう、開催方法や時間帯の工夫、資料提供の充実など、より参加しやすい形で家族支援を進めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	100	7	1	1	月に数回なので、その時は話しはできるが十分な時間がとれているとは言えない	こどもの状況をより的確に共有できるよう、アポロ園では限られた面談機会でも必要な情報が伝わる仕組みづくりを進めています。今後は、対話の時間が十分に確保しにくいご家庭にも安心していただけるよう、伝達方法や共有頻度の工夫を行い、こどもの健康や発達についての共通理解をさらに深めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	102	4		3		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	103	4	1	1			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	47	9	13	40	療育の際、兄弟姉妹を連れて行けない点はどうしても難しい。難しいかもしれませんが、うちの姉妹はアポロ園が好きなので姉妹もイベントに参加できたら有り難いと思ったことは何度もあります。きょうだいのイベントや支援はありません。父母会も活動していません。保護者支援はあるが、兄弟向けのイベントや交流はないので、あるといい。保護者懇談会があるようなのですが、タイミング的にまだ参加できたことはありません	アポロ園では保護者支援の機会を設けていますが、きょうだい向けのイベントが十分に提供できていない現状を踏まえ、家族全体が参加しやすい形の支援を今後さらに充実させていきます。療育にきょうだいを連れて来られない難しさや、きょうだいも園の活動に参加したいというご家庭の思いにも配慮し、きょうだいも楽しめる交流機会の検討を進めてまいります。それぞれが安心して関われる場を広げることで、家庭と園が協力しながらこどもの成長を支えられる体制づくりを強化していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86	7	3	13		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100	6	1	2	保育所等訪問の日時連絡が直近の時があったので、もう少し事前にお知らせいただけたらありがたいです。	保育所等訪問の連絡については、より余裕をもって予定をお伝えできるよう、事前周知の徹底と情報共有の方法を見直してまいります。保護者の方が予定を立てやすく、安心して準備できるよう、今後も伝達のタイミングと分かりやすさの向上に取り組んでいきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	66	8	2	33		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96	3	1	9		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	69	3	2	35		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	62	4	2	41		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92	6		11		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	64	4	1	40	事故が起きたことがないのでわからない	アポロ園では、事故や怪我が発生した際には速やかな連絡と状況説明を行う体制を整えています。万が一の際にも保護者の方が安心できるよう、情報伝達の迅速さと丁寧さを今後も徹底してまいります。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	107	1		1	子どものその日の精神状態に合わせて、接し方や活動内容を柔軟に調整していただいています。そのおかげで、子どももとても安心して過ごせています。 楽しんで通っています。	子どものその日の状態に合わせて関わり方や活動内容を柔軟に調整し、安心して過ごせる環境づくりに努めています。実際に楽しんで通っていただけているとの声を励みに、今後も子どもが落ち着いて自分らしく過ごせる支援を大切にしております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	99	6	1	3	アポロ園に行きたいと言っています 通所し始めたばかりなので、まだわかりかねます。 ～先生に会いに行く！と、とても子供との信頼関係を築いて貰えていると思う	アポロ園では、子どもが安心して通える環境づくりに大切にしており、前向きな気持ちで通っていただけている声を励みにしています。通所を始めたばかりで気持ちがまだ安定しない時期のご家庭にも寄り添いながら、子どもとの信頼関係を丁寧に育み、楽しみに通える場づくりを今後も続けてまいります。

満足度	29 事業所の支援に満足していますか。	95	12	2	<p>就学後も継続して相談できると大変心強いと思います  人数が多く難しいのかもしれませんがスポット利用が可能(特に長期休み中など)があれば有り難いです。  アポロ園や先生方が大好きで、とても楽しく通っています。アポロ園でのさまざまな経験を通して成長しており、日々温かく関わっていただいていることに感謝しております。  夏祭りや親子遠足、とても楽しかったです。保育園でのトラブル話にもよく耳を傾け、対処していただきありがとうございます。  保育所等訪問が個別支援の担当の先生も一緒に訪問見学してもらえたら、と思う事もあります。  当初から段取りがスムーズでないこと、最近では職員さんが可立つ場面等が見受けられ、その点が気になっています。  毎回、子どもと一緒に楽しく通わせていただいています。  いつも丁寧で適切な療育をしていただき、ありがとうございます。</p>	<p>アポロ園では、こどもが安心して楽しく通える場づくりを大切にしており、「アポロ園や先生方が大好き」「毎回楽しく通っている」「温かく関わってもらえて成長を感じる」といった声を励みに、日々の支援に取り組んでいます。夏祭りや親子遠足などの行事も楽しんでいただけたとお声を受け、今後も家族で思い出を共有できる機会を大切にしていきます。  一方で、就学後も継続して相談できる体制への期待や、長期休み中のスポット利用のご要望もいただいておりますが、区や療育の制度上の方針の中で可能なことについては検討をさせていただきます。また、場面によって職員の対応がスムーズでない、苛立ちが見えることがあったという指摘も真摯に受け止め、支援の安定性や職員間の連携強化に努めてまいります。  これらの声を踏まえ、より安心して利用できる環境づくり、相談体制の充実、柔軟な利用の在り方の検討、そして職員の支援力向上に引き続き取り組み、満足度の高い支援を提供できるよう努めてまいります。</p>
-----	---------------------	----	----	---	--	--